

第 1・2 学年 保健体育科

1 学年の目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

2 体育分野の領域及び内容の取扱い

下記の各事項は、各領域及びその内容である運動種目等について、その履修の仕方を示したものである。「A体づくり運動」及び「H体育理論」については、それぞれの学年で履修させることとし、その他の領域については、第1学年又は第2学年のいずれかの学年で履修させることもできることとしている。第1学年及び第2学年で全ての領域を履修させ、基礎的な知識や技能を習得させ、第3学年で選択した領域について自主的に取り組むことができるよう配慮することが大切である。

領域及び領域の内容	1 年	2 年	内容の取扱い
【A体づくり運動】	必修	必修	ア、イ必修（各学年7単位時間以上） 「A体づくり運動」の運動については、「B器械運動」から「Gダンス」までにおいても関連を図って指導することができること。
ア 体ほぐしの運動			
イ 体の動きを高める運動			
【B器械運動】	必修		2年間でアを含む②選択 「B器械運動」の運動については、第1学年及び第2学年においては、アからエまでの中からアを含む二を選択して履修できるようにすること。
ア マット運動			
イ 鉄棒運動			
ウ 平均台運動			
エ 跳び箱運動			
【C陸上競技】	必修		2年間でア及びイのそれぞれの中から選択 「C陸上競技」の運動については、ア及びイに示すそれぞれの運動の中から選択して履修できるようにすること。
ア 短距離走・リレー・長距離走又はハードル走			
イ 走り幅跳び又は走り高跳び			
【D水泳】	必修		2年間でア又はイを含む②選択 「D水泳」の運動については、第1学年及び第2学年においては、アからエまでの中からア又はイのいずれかを含む二を選択して履修できるようにすること。 水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げること。
ア クロール			
イ 平泳ぎ			
ウ 背泳ぎ			
エ バタフライ			

【E球技】	必修	2年間でア～ウ 全てを選択	「E球技」の運動については、第1学年及び第2学年においては、アからウまでを全ての生徒に履修させること。また、アについては、バスケットボール、ハンドボール、サッカーの中から、イについては、バレーボール、卓球、テニス、バドミントンの中から、ウについては、ソフトボールを適宜取り上げることとし、学校や地域の実態に応じて、その他の運動についても履修させることができること。
ア ゴール型			
イ ネット型			
ウ ベースボール型			
【F武道】	必修	2年間でア～ウ から①選択	「F武道」の運動については、アからウまでの中から一を選択して履修できるようにすること。なお、学校や地域の実態に応じて、空手道、なぎなた、弓道、合気道、少林寺拳法、銃剣道などについても履修させることができること。
ア 柔道			
イ 剣道			
ウ 相撲			
【Gダンス】	必修	2年間でア～ウ から選択	「Gダンス」の運動については、アからウまでの中から選択して履修できるようにすること。なお、学校や地域の実態に応じて、その他のダンスについても履修させることができること。
ア 創作ダンス			
イ フォークダンス			
ウ 現代的なリズムのダンス			
【H体育理論】	必修	必修	(1)第1学年必修 (2)第2学年必修 (各学年3単位時間以上)
(1) 運動やスポーツの多様性			
(2) 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方			

3 評価の観点の趣旨

観点	観点の趣旨
知識・技能	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解するとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。